

③ 博物館

【PT案及び考え方】① 弥生文化博物館「廃止・他施設に集約化」

・近つ飛鳥博物館への移転・集約化 ・展示物、資料等を厳選の上、移転。施設は売却 ・池上曽根遺跡展示部分は、市への移管も検討

弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館は、府民の貴重な教育財産であり、史跡との一体活用の下、両館を存続

そのために

より一層の活性化を図り
コスト縮減に努める

活性化と
コスト縮減

地元市町との連携強化
ーサイトミュージアムの特性発揮ー

- ・市町主催による展示会の実施
- ・市町立施設との連携による事業を推進
- ・市町の協力により、博物館広報を強化
- ・史跡と一体となった事業の拡充

府民参加型博物館
ー博物館は、みんなのものー

- ・府民の文化活動の成果を展示
- ・府民学芸員の育成
- ・府民モニター制度の創設
- ・ボランティア制度の拡充（広報活動、催し等）

博物館 in Schoolー大阪が誇る
教育財産をすべての子どもにー

- ・学校への出前授業
- ・教員向け研修会における出前講座
- ・高校地歴部との交流・共同展示等
- ・資料パッケージの貸出 ・遺跡発掘体験

どこでも博物館
ー「大阪力」を育てるー

- ・学芸員の出張講座 ・歴史なんでも相談室
- ・サテライト・ミュージアム（どこでもミニ展示）
- ・歴史探訪ハイキング
- ・多彩な情報発信（無料動画配信、メルマガ、学芸員ブログの活用）

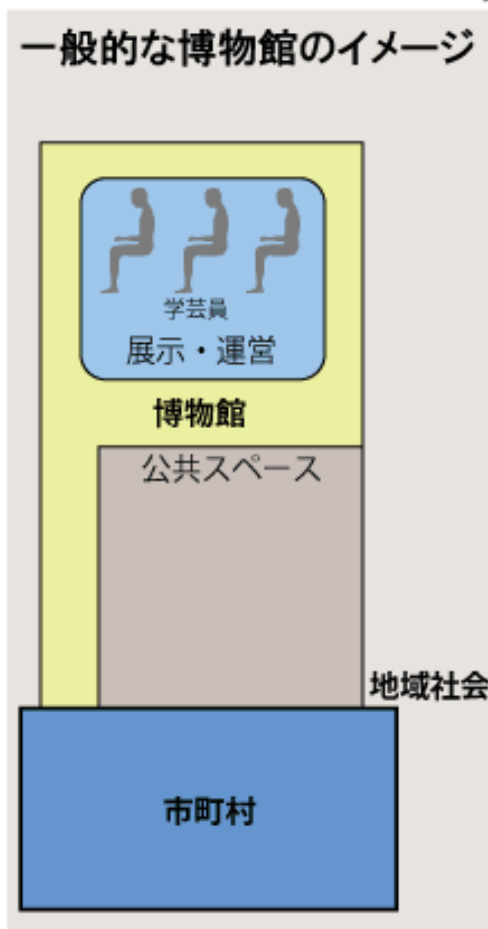
みんなできつくり支える博物館
府民・地元との協働

出かける博物館

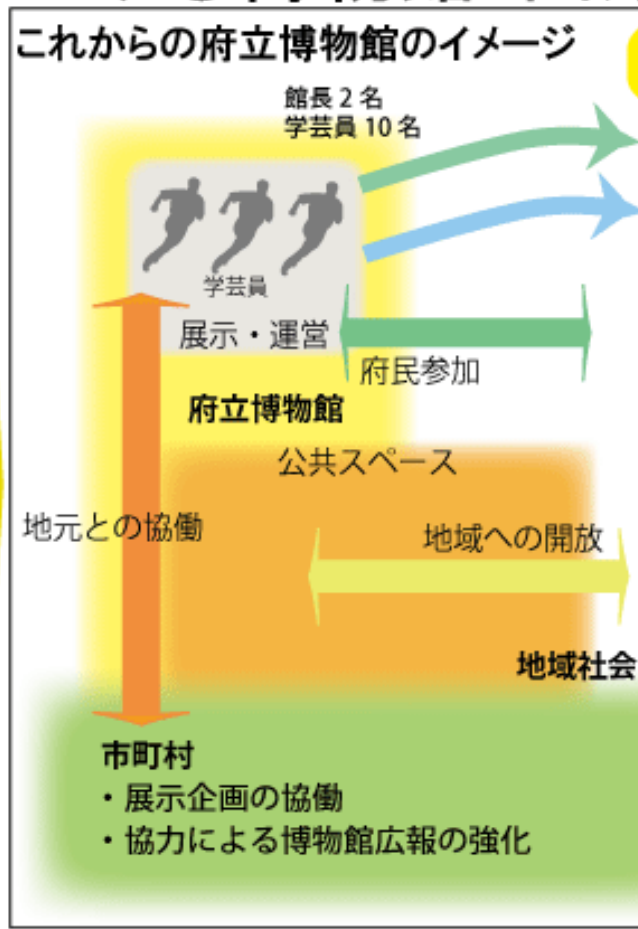
- ・運営費20%削減（平成19年度比 ▲70百万円）
- ・ホール等の活用に伴う受益者負担を徴収
- ・入館料に加えて、講演会等の実費を徴収

平成21年度実施目標

出かける博物館 出動！



- 静態的な博物館
- ・来てもらうのを待つ
 - ・見てもらうのを待つ



- 動態的な博物館
- ・学校や社会の中へ会いに行く
 - ・見てもらうため、もって行く
 - ・価値を伝えるため一緒に歩く

施設を飛び出す博物館 ⇒学校や社会へ

- 学校へ：出前授業（総合的学習の時間等）
毎週（年 48 回）実施
- 社会へ：出張講座（市民講座等）
サテライト・ミュージアム
（どこでもミニ展示）
歴史探訪ハイキング

弥生文化博物館では：
池上曽根史跡公園整備と連携

近つ飛鳥博物館では：
世界遺産を目指す百舌鳥・古市古
墳群登録推進活動と連携

- 各地域の歴史・文化を伝える
- 府内外の博物館等との連携
- 大阪ミュージアム構想とも
連携

- 実物をどこでも
- ・見られる
 - ・ふれられる
 - ・体感できる

府立博物館活性化事業の主な内容

	活性化事業	効 果
市町との連携強化	市町主催の展示活動の実施 ⇒地元市町の所蔵資料などを用いた展示企画実施	○アイデアや展示がバラエティ豊かに！ ○展示企画にかかる経費の節減！
	市町立施設との連携による事業推進 ⇒和泉市立いずみの国歴史館、久保惣記念美術館、太子町竹内街道歴史資料館と連携して巡回展示を行うなど	○府市町の施設を関連付けて単体にはない魅力をアピール！
	市町の協力により博物館広報を強化 ⇒市町の広報誌などに博物館の案内・コラム連載	○効果的・効率的な広報で経費削減！
	史跡と一体となった事業の拡充 ⇒史跡内でのキャンプ、米作りなど体験学習の実線	○サイトミュージアムの特性を発揮し、体を使った体験を！
府民参加型博物館	府民の文化活動の成果を展示 ⇒文化活動サークル等の発表会に使用	○毎日違うことがある博物館に！ ○府民の自己実現の場を提供！
	府民学芸員の育成 ⇒博物館活動のサポーターを育成	○専門家とは違った目線で博物館の魅力をアピールする！
	府民モニター制度の創設 ⇒博物館への府民ニーズを知るため、モニターを公募	○真に府民のための博物館の実現！
	寄付・協賛の積極的受け入れ ⇒企業・個人からの寄付・協賛を募る	○博物館を社会で支える仕組みの創設！
博物館 in School	学校への出前授業 ⇒毎週(年間48回)実施	○教育への活用！ ○博物館へ行くきっかけに！
	教員向け研修会における出前講座 ⇒教育センターや各地で教員向けに講義、アドバイス	○日々の授業の充実化！
	資料パッケージの貸し出し ⇒土器や石器、遺跡の写真、古代衣装などを教材に	○みて、ふれて、体感できる授業！
どこでも博物館	学芸員の出張講座 ⇒さまざまな機会に出張して講義等を行う	○社会の中で歴史を伝える！
	サテライトミュージアム(どこでもミニ展示) ⇒学校、公民館など各種施設、イベントで出張展示、解説	○普段の生活の中の新鮮な体験！ ○新たなファンの開拓！
	歴史探訪ハイキング ⇒大阪府内の遺跡や名勝地などを巡るツアーを実施	○大阪の歴史や文化の再発見＝大阪ミュージアム構想とも連携！
	多彩な情報発信(無料動画配信、メルマガ、学芸員ブログ) ⇒YouTube等の動画配信など現代的な手法で魅力を発信	○効果的な広報活動！ ○新たな来館者層の開拓！